



中川 あゆこ 議員

良質で安定した福祉
サービスを維持して
いくために

問
介護人材を充実させるための
踏み込んだ施策は

答
必要な施策について取捨選択しながら事業化
するという流れが必要になってくると思います

目指している事業所もありま
す。

問
介助が身体的な負担が大き
いと考えてよいのか。

答
健康福祉部長

離職理由の1つであるとは
考えます。市としては例えば
介護ロボットの導入など、身
体的負担を軽減するための検
討の時期に来ているのではな
いかと思っています。

問
踏み込んだ施策について。

答
健康福祉部長

民間事業者の方がどのよう
な政策を求められているのか
を検討し、必要な施策につい
て取捨選択しながら事業化す
るという流れが必要になって
くると思います。

問
介護人材の離職理由はどの
ようなものがあるのか。

答
健康福祉部長

市の実態調査での離職理由
は、「ご自身の病気による退
職」が最も多く、次いで「職
場内の人間関係」と「他の職
場への転職」になっています。

問
離職理由である病気につい
ての分析は。

答
健康福祉部長

介護職の病気の一つに腰痛
があると思います。事業所に
よってはノーリフトに取り組
むなど、持ち上げない介護を

問
福祉分野での人材不足の実
態と市の対策について伺う。

答
健康福祉部長

昨年度に市内の介護および
障害福祉サービス事業所に対
象に実施した実態調査では、
離職者数はご回答いただいた
42法人で225人あり、補充
できたのは163人とどま
り、職員の確保が難しくなっ
ている状況が窺えます。市で
は平成30年度から市内の福祉
サービス事業所等の管理者、
県や市の社会福祉協議会に参
画いただき、高島市介護人材
確保対策協議会を設置し、介

問
高島市介護人材確保対策協
議会には市の職員も参加する
のか。

答
健康福祉部長

職員は事務局員として、障
がい福祉課、高齢者支援課の
職員が参加しています。

